

オフィスやご自宅でご利用のそのエアコン 15年以上経過していたらご注意ください!!



2020年以降 修理が困難に なることが予想されます!

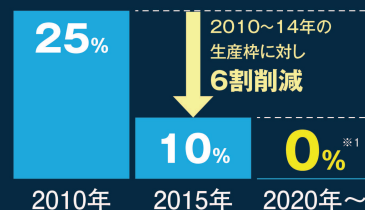
モントリオール議定書に基づき

R22冷媒は今年で
生産終了となります!^{※1}

15年以上前のエアコンは、HCFC (R22) 冷媒が主流。この冷媒には、オゾン層を破壊する成分が含まれているため、モントリオール議定書により世界的に規制がすすんでおり、**2020年には実質全廃**となります。そのため、冷媒の入手困難や価格高騰によりエアコンが故障しても**修理が困難**になる場合がございます。

15年以上前の
エアコンは
R22搭載機の
可能性があります

R22 (HCFC) 冷媒生産枠の削減スケジュール
(基準値(100%)は1989年実績値)



※1. モントリオール議定書では、2020年時点で現存する冷凍空調機器への補充用途のHCFCに限り2029年まで生産を認める特例が存在します。ただし、通商産業省化学工業審議会オゾン層保護対策部会中間報告(平成8年9月14日)においては、上記の補充用途も含めて、2020年のHCFC生産・消費量の削減・全廃を目標とすることとされています。

部品供給も困難になります!

製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品)の保有状況によっては整備・修理ができない場合もございます。

さらに

世界的に温室効果ガス削減への取り組みが急務!

経済産業省では、「2015年にパリで開かれた、温室効果ガス削減に関する国際的取り決めを話し合う「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)」で合意されました。この国際的な枠組みの下、主要排出国が排出削減に取り組むよう国際社会を主導し、地球温暖化対策と経済成長の両立を目指していきます。」と発表されています。

古いエアコンは多くのエネルギーを消費!

だから

**環境負荷の少ない冷媒を採用した
省エネエアコン**が求められています。

冷媒	R22	R32
オゾン層破壊係数	0.05	0
地球温暖化係数	1,810	675

修理が
困難になる
前に

古いエアコンは、今すぐ更新をご検討ください。



改正フロン排出抑制法が成立。
空調機器廃棄の不適切な対応は罰則が強化されます!

機器廃棄時のフロン回収率が低いことを受け、適切な回収を促すための改正フロン排出抑制法が2019年5月29日に成立し公布されました。(2020年春施行予定)

お気軽に京都熱学(株)までご相談ください!!